１００人の村

最近マスコミで話題の「１００人の村」を目にした。元々は「１、０００人の村」であったとか。両方見たが、「１００人の村」の方が私にはその意図が理解し易かった。

つまり、世界の人類統計比率を「１００人の村」に縮小し、縮小された全体図から私たちの世界を見て、じっくり考えてみようというもので、このメールが今世界の国々に送信し続けられているとか。

その一つに「もし冷蔵庫に食料があり、着る服があり、頭の上に屋根があり、寝る所があるなら…あなたは世界の７５％の人たちより裕福で恵まれています。」

また、「もし銀行に預金があり、お財布にお金があり、家のどこかに小銭が入った入れ物があるなら…あなたはこの世界の中でもっとも裕福な上位８％のうちのひとりです。」

これからみても、日本人の殆どが何と恵まれていることか。恵まれているがゆえに、世界を視野に入れ、まず自分が何を考えるべきか、重いテーマですね。

（2002 年 01 月 26 日　記）